

第09号

2019年
9月19日



Safety Mail

● 滋賀県警察本部交通企画課 ●

県内の交通事故発生状況

《令和元年8月末現在の人身事故》

〈高齢者の事故〉

※高齢者…65歳以上をいう



	件数	死者	傷者
本年	2,445	43	3,110
前年	2,799	22	3,572
増減	-354	+21	-462

	件数	死者	傷者
本年	763	19	426
前年	789	12	461
増減	-26	+7	-35

秋の全国交通安全運動



令和元年9月21日(土)～9月30日(月)

交通事故死ゼロを目指す日 9月30日(月)

① 子どもと高齢者の安全な通行の確保

子どもや高齢者を見かけたら、速度を落として徐行または一時停止するなど、その行動に十分気をつけましょう。

② 高齢運転者の交通事故防止

全国的に高齢ドライバーによる重大交通事故が発生しています。運転の卒業(自主返納)について考えてみましょう。

③ 夕暮れ時と夜間の歩行中・自転車乗用中の交通事故防止

夕暮れ時と夜間は反射材で周囲に自分の存在を知らせましょう。自転車は必ずライトを点灯しましょう。

④ 全ての座席のシートベルトとチャイルドシートの正しい着用の徹底

全ての座席で必ずシートベルトを着用しましょう。子どもの体格にあったチャイルドシートを使用しましょう。

⑤ 飲酒運転の根絶

飲酒運転の関係する交通事故が後を絶ちません。

「ちょっとだけ」の軽い気持ちとお酒に対する甘い認識が取り返しのつかない悲劇を引き起こします。

⑥ 横断歩道利用者ファースト運動の推進(滋賀県重点)



ドライバーのみなさん！ 横断歩道は歩行者優先です！



渡るかな

ストップ！

横断歩道

止まって譲ろう



よく見て渡ろう 横断歩道



車両運転中にもし災害が発生したら…どうしますか？

昨年、西日本は大雨による甚大な被害を受けました。今後も台風や大雨など災害の発生が予想されることから、車両運転中等の避難行動について再確認して非常時に備えましょう。

1 テレビ、ラジオ、インターネット等での最新の気象情報、災害情報、避難情報に注意しましょう。



予測を上回る雨や風、竜巻の発生など危険を感じたら早めに避難しましょう。早め早めの判断が大切です。

2 河川の周囲を走行しているときは、川の水位や流れに注意しましょう。

河川の急な増水や、濁ったり枝が流れてきたりするときは危険です。

早めの避難！



ハザードマップにより危険箇所をあらかじめ把握し、安全な場所へ避難する必要があります。

3 周辺より低い位置にある道路は避けましょう。

地下道やアンダーパスは低い位置にあり、水がたまりやすいため、短時間でも水位が上昇する恐れがあります。

早めの避難！



4 冠水している道路は避けましょう。

比較的水位が低く（5～10 cm）でも、路面状況がわかりにくいので、絶対に進入せずに、迂回しましょう。排水溝への脱輪や段差へ乗り上げる危険があります。

5 万が一、車が水に浸ってしまったときには…！？

すぐに車を止め、慌てずにエンジンを停止させ、避難経路を考えましょう。その際は道路の状況がわからないので一步一步確かめながら、進行方向と逆に避難しましょう。

万が一水没した場合には、まずシートベルトを外し、窓が水面より高ければ開けてルーフに上るようにして脱出します。開かないときは、緊急脱出用ハンマーを利用することにより脱出の可能性が高まりますので常備しておきましょう。

※出典 JAF ホームページより

事業所内に掲示するなど、多くの方々にご覧いただけるようご協力ください。

TEL 077-522-1231（代表） Eメール x0022@police.pref.shiga.jp